

生活 ワーキング ウーマン

一人頑張るお局から、仲間のご真ん中にあるアネゴへと心の中でスイッチが切り替わった。

お局とアネゴの違い

	お局	アネゴ
後輩指導	自分流を強要する	一緒に考える
指導方針	正す	育てる
注意の仕方	これ見よがし	陰でこっそり本人に
仕事の姿勢	現状維持	来るものは拒まず
対人姿勢	あら探しをする	いいところを探す
目線の向き	上司	同僚、部下
上司の評価	腫れ物扱い	一目置かれている
印象	怖い	頼れる
同僚の動き	敬遠される	人が寄ってくる
社内の立場	お荷物	リーダー格
人望	薄い	男女ともに厚い
結婚	していない	独身・既婚関係なし
頑張るワケ	自分のため	誰かのため
トラブル対応	取り繕う	損な役も引き受ける
自分の弱点	見せない。完ぺき主義	見せる。時に泣いたりも
昼の居場所	給湯室	後輩とランチ

仕事ができ後輩から慕われ…「お局様」とは一味違う!?

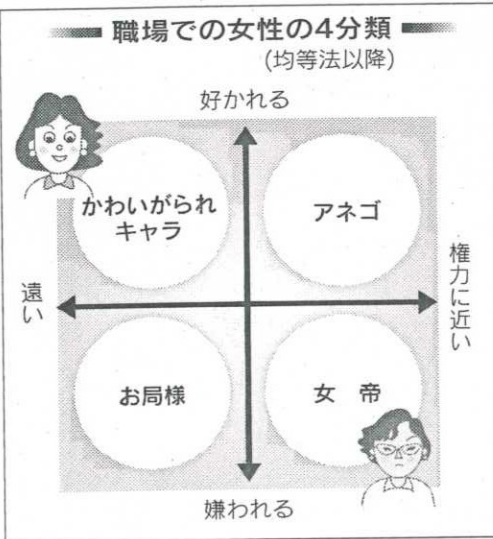
アネゴが輝く

仕事ができても面倒見がよく後輩に慕われる。そんな「アネゴ」が職場で輝きを増している。ベテラン女性社員といえば、とかくオンナの世界に完結しがちな「お局(つぼね)様」が従来のイメージだみずほコーポレート銀行 すいのでは。自己分析に不動産ファイナンス営業も余裕が漂う。同行で人材部。入行三年目の武政卓さん(24)が「まさにアネゴ」と慕うのが参事役の小野真理子さん(42)だ。「小野さんになら聞けることがある。見下したりせず本質を」とらえた助言をくれる。

社歴二十一年の小野さんには、二度の「転身」経験がある。まずは一般職から基幹職(総合職)へ転換した入行二年目。「上司に評価されたい、と肩に力が入っていた」と当時を振り返る。二度目は十年前だ。仕事で経験を重ねるうちに自信が付き、上ばかりに向いていた視線が下にも向くようになった。後輩と話すのが楽しくなり、

一人頑張るお局から、仲間のご真ん中にあるアネゴへと心の中でスイッチが切り替わった。

今では後輩を昼食に誘い、仕事の相談に乗る。「女性性は男性社会ではアウトサイダー。だから話しかけや



った。それに代わって、男女問わず後輩社員らに頼られるアネゴが存在感を増す背景には、女性の仕事領域の広がりがある。その隠れた力を生かそうとする企業も出てきた。

「年齢に関係なく、外面・内面の美しさを兼備」「しなやかでタフ」「完ぺきではない人間味」。こんなアネゴ十カ条を掲げ、キャリアアップの相談にのる「アネゴ企画」代表の上田雅美さん(36)は最近「実は私もアネゴです」という見知らぬ女性から、よくメールをもらう。

上田さんによると、お局は自分自身が不安で仕方がない。だから後輩や同僚の成功を喜べない。一方、アネゴは仕事を楽しんでいて、自分と他人を比べないので、周囲に気配りができる。その好対照が「自分らしさ」に迷う現代女性には

ベテラン女性 "咲き方"多彩

「器が大きく、どんな状況でも余裕があり、感情に左右されずに対処できる」。その理想の具現化が「アネゴ」というわけだ。

「器が大きく、どんな状況でも余裕があり、感情に左右されずに対処できる」。その理想の具現化が「アネゴ」というわけだ。

「器が大きく、どんな状況でも余裕があり、感情に左右されずに対処できる」。その理想の具現化が「アネゴ」というわけだ。

必要。一緒に悩む姿勢は忘れず、優しさを基本にしなから、時に厳しい顔も見せる。新職場で田中さんは「母親ではなく「アネゴになりたい」と感じている。

人材紹介会社キャリア・パートナー(横浜市)の菊本奈々代表(38)は「アネゴ」という名前がアネゴを指している。化粧品会社の総合職から生命保険会社の一般職に転じ、さらに人材派遣会社の管理職を経て現在のポストに就いた。求めてきたものは、役職ではなく生き方だという。

「器が大きく、どんな状況でも余裕があり、感情に左右されずに対処できる」。その理想の具現化が「アネゴ」というわけだ。

「器が大きく、どんな状況でも余裕があり、感情に左右されずに対処できる」。その理想の具現化が「アネゴ」というわけだ。